

## 但馬の地域資源を考える。 (RRM大学院生の研究成果)

本研究科が開設されて間もなく10年目を迎えます。現在、20代から70代の大学院生が38名在籍し、但馬各地で調査に励み、研究に打ち込んでいます。

地域資源マネジメント学の研究課題は、コウノトリの野生復帰やジオパークにとどまらず、歴史や地域づくりなど人間の営みを広く含んでいます。

今回の研究報告会は、大学院生10名の研究成果発表を予定しており、今後の但馬の地域資源マネジメントのあり方を展望します。

### 2023.2/26 (日曜日) 13:00-17:00

#### PROGRAM

プログラム

13:00 - 13:05 | 開会

#### 発表・質疑応答

- 池田喜代子 (養父市蔵垣「わはは牧場」の小さい畜産の実践)
- 澤村 博行 (都市河川に生息する魚類の特徴と地域資源としての価値)
- 島岡 航平 (自治会による再生可能エネルギーの導入と効果)
- 前田 孝司 (大笹集落が取り組むハチ北高原の利用と管理)
- 宇田川卓義 (水田雑草アゾラってどんな草?どこに多い?)
- 澤志 萌 (コウノトリの送電線・配電線への衝突の要因)
- 田井 魁斗 (孤高の溪流魚ナガレホトケドジョウの棲家を探せ!)
- 立川 裕章 (簡易的な水田魚道で田んぼの魚をとりもどそう!)
- 中尾 祐太 (カエルが好む産卵場所からみえる稲作場の提案)
- 宮尾 李 (但馬が誇る大地主 平尾源太夫邸を探ろう!)

(10名)

13:05 - 17:00

17:00 | 閉会

**参加費 無料** ※参加希望者多数の場合は、先着50名までとします。

#### 開催場所

豊岡稽古堂(旧豊岡市役所)

〒668-0033 兵庫県豊岡市中央町2-4



#### 申込締切

2月21日(火)

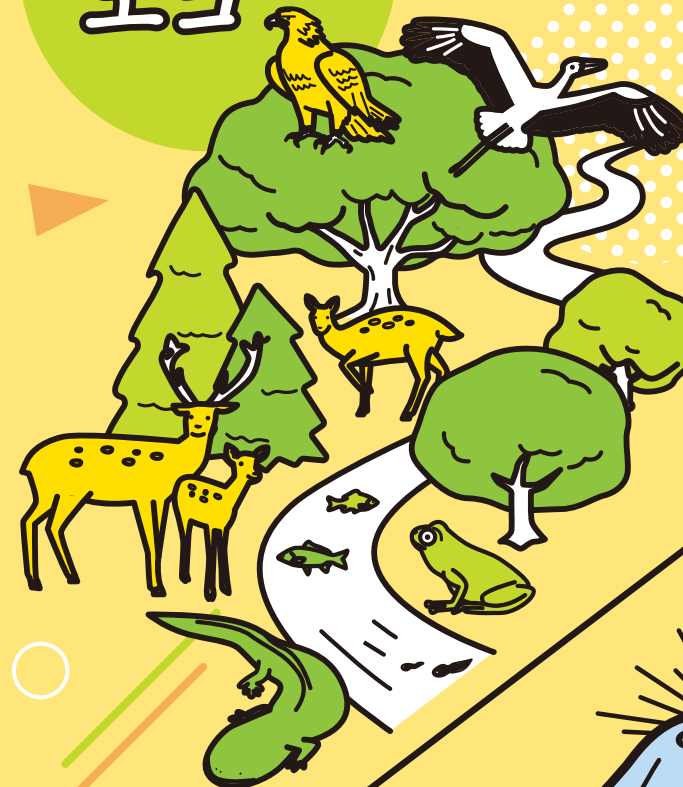
※ただし、定員に満たない場合は当日まで受け付けます。

#### 申込方法

Tel 0796-34-6079へ電話連絡、もしくは氏名、住所、連絡先電話番号を記載の上「研究報告会参加希望」と明記し、メール(rrm@ofc.u-hyogo.ac.jp)またはFax(0796-22-5200)にてお申し込みください。

## 但馬で地域資源を 学びませんか?

生き物を学ぶ  
**エコ**



人間社会を学ぶ  
**ソシオ**



大地を学ぶ  
**ジオ**



兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科  
豊岡ジオ・コウノトリキャンパス



UNIVERSITY OF HYOGO

# UNIVERSITY OF HYOGO

TOYOOKA GEO & KOUNOTORI CAMPUS

兵庫県立大学大学院  
地域資源マネジメント研究科RRM

〒668-0814 豊岡市祥雲寺128(兵庫県立コウノトリの郷公園内)  
兵庫県立大学豊岡ジオ・コウノトリキャンパス

TEL. 0796-34-6079

FAX. 0796-22-5200

E-Mail: rrm@ofc.u-hyogo.ac.jp

http://www.u-hyogo.ac.jp/rrm/







## コウノトリ舞う、山陰海岸ジオパークの地で 地域資源マネジメントを学びませんか？

地域資源マネジメント研究科は、「地域に内在する自然・社会・文化のつながりを科学的に解明し本質的に理解する素養を身につけ、地域資源の発掘・保全・活用を実行できる人材の育成」を目的としています。全国でも貴重な地域資源(コウノトリ・ジオパーク等)が存在する兵庫県但馬地域を主なフィールドとし、2014年4月にスタートしました。

### 各コースの紹介

- GEO** [ジオ分野] ジオ研究領域の「ジオ」geo.とは「地球の」という意味です。大地と文化の関係について地形や地質の視点からひも解く研究をしています。研究を通じて、地域産業や教育の分野における新しい価値の創出や防災を支援します。
- ECO** [エコ分野] 再導入されたコウノトリの野生復帰に向けた、様々な専門分野の研究手法を取り入れた総合的な研究や、その生息場である田園に生息・生育する動植物の生態学的な研究を行い、その理論に基づく実践スキルを開発します。
- SOCIO** [ソシオ分野] 大地・自然・人間の関係の過去・現在・未来について、人文社会科学(歴史考古学・社会学・地理学)の立場から研究するとともに、私たちの社会を支えるさまざまな地域資源の保全や活用を考えます。

### 就職先例

- 豊岡市役所
- 山陰海岸ジオパーク推進協議会専門員
- 公益財団法人日本野鳥の会
- 環境コンサルタント会社など
- 朝来市役所
- 福知山公立大学(教員)
- 京都教育大学(教員)

4年間、土日に  
通うだけでも  
修了可能!

### 社会人も学びやすい仕組み

**【長期履修制度】**  
職業を有している等の事情により標準修業年限では教育課程の履修が困難な場合、事情に応じて標準修業年限を超えて(3年以上4年まで)、計画的に教育課程を履修し修了することにより、学位を取得することができる長期履修制度を設けています。授業料の総額は一般履修と同じです。

**【授業時間割】**  
木曜～日曜に開講。主な授業を木金土に開講し、毎年、開講曜日をずらします。このことにより、長期履修制度を活用している社会人学生が、土日に通学するだけで、全科目を履修できるようにしています。

### 入学試験

#### C日程・第2回入試

試験日 2023.3/5 (日) 願書受付 2/8(水)～2/21(火)

試験科目は小論文と口述試験です。 ※英語の試験はありません。

## 大学院在学生の研究紹介

### ジオ研究領域



遠藤 拓  
Taku Endo

出身  
兵庫県多可町

#### 調査方法

兵庫県豊岡市北部に分布する新第三紀北但馬層群を対象に踏査による露頭や堆積物の調査、堆積相解析を行います。

#### 研究内容

日本海拡大期に形成したと指摘されている地溝帯内部に堆積した中新世の地層の形成過程を明らかにするとともに、堆積時の古環境復元を行います。この古環境を明らかにすることで日本海拡大期のテクトニクスの解明を目指します。

### エコ研究領域



吉田 樹一  
Kiichi Yoshida

出身  
千葉県南房総市

#### 調査方法

水田の中干し時に、タモ網を用いて水田内の水生動物を捕獲したり、定置網を設置して水抜き時に水路へ流出する動物を捕獲したりします。

#### 研究内容

現代の稲作では水田の水を抜く「中干し」を行います。多くの水田は水を抜くと完全に乾き、水生動物は斃死してしまいます。水田を中干しても水生動物を保全する方法について研究しています。

### ソシオ研究領域



地見 元博  
Motohiro Chiken

出身  
兵庫県神戸市長田区

#### 調査方法

近世中期の寺院護持の諸相について、  
①奉行所による寺社改めと、それに対応した寺院由緒の変遷  
②新寺建立が禁止されるなが行われた寺院の売買  
③豪商による寺院護持の三点を軸として考察しています。

#### 研究内容

当時の末端寺院やそこに関わる信徒の動向を見出すべく、寺院や旧家に所蔵されてきた古文書を調査・解読・整理しています。

地域資源マネジメント研究科では、様々な地域の課題に取り組む博士前期・後期課程の学生が在籍しています。本号では大学院生の研究や進学理由を紹介します。

## GEO Study field

### 進学理由

学部時代に専門職に就くことを目標としており、当時の能力では不安を抱いていたことから進学を決意しました。修士研究では、その専門職の経験がある指導教官に、業務内容でも活かせるような研究テーマをご教授いただきました。



写真:露頭の情報を調査ノートに記載

## ECO Study field

### 進学理由

私は千葉県の身近に水田のある環境で育ち、その後北海道の大学の講義で水田の水生動物の危機を知りました。豊岡市はコウノトリ育む農法による環境配慮を実施しており、水生動物の保全について研究するには最適であると考え進学しました。



写真:定置網調査の様子

## SOCIO Study field

### 進学理由

修士課程の指導教授が定年退職となるため博士課程の進学先を検討していましたが、長期履修制度などが充実しており社会人が学びやすいこと、また県民であれば費用の一部免除もあることから、兵庫県立大学を選びました。

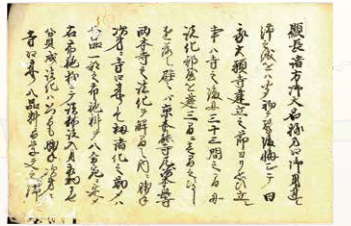


写真:「山岸太平記」より部分(大阪・大願寺所蔵)